

## Y01a V L B I 観測用電波源カタログの作成

藤下 光身 (九州東海大工)、末永 聡 (元九州東海大工)、藤木 高智 (元九州東海大工)

現在、電波源基準座標系はV L B I (Very Long Baseline Interferometry: 超長基線電波干渉法) 観測によってサブミリ秒角の精度でその位置が決定された212個の電波源から構成されている (I C R F: International Celestial Reference Frame: 国際天球基準座標系)。V E R A (VLBI Exploration of Radio Astrometry: 天文広域精測望遠鏡) では2度の視野内で精度10マイクロ秒角の相対観測を目指しており、近い将来その程度以下の精度での数千個から1万個の電波源から構成された基準座標系が必要となろう。

この状況に対応し、且つ、電波源総数の推定などの各種の統計的研究にも役立てることなどを目指して、V L B I 観測用電波源カタログの作成を試験的に始めた。現状では、まだインターネットや論文から集めたデータのみで、しかも主にV L B A キャリブレーションカタログやI C R F カタログから集めたものが中心であるが、将来はサーベイ観測を行うなどして徐々に数を増やしたいと考えている。カタログはExcelのファイルとして作成され、2003年6月の現時点では総数3133個の天体を集めている。